

豊橋文学めぐり「ふるさとの民話をたずねて」を開催しました！



新緑の野山に萌えて、5月14日(水)に豊橋文学めぐり「ふるさとの民話をたずねて」を開催しました。今回も募集人数(21名)を上回る申し込みがあり、抽選で参加者を決定させていただきました。

今年度も講師には中島三郎さん、語りには豊橋の民話を語りつぐ会の皆さんをお招きしました。



解説 中島三郎さん



民話の語り(山の背くらべ)

今回は以下の4つの民話を紹介しました。

旭校区	民話「道しるべ稲荷」	桜ヶ丘公園にて
石巻校区	民話「山の背くらべ」	石巻神社にて
西郷校区	民話「雨乞いの面」	日吉神社にて
牛川校区	民話「豊川を流れた黒牛」	渡船場にて (参照: 片身のスズキ)

午前中は旭校区と石巻校区に行きました。民話「山の背くらべ」の語りは、石巻山の中腹、豊橋市街を見渡せる絶景のスポットで行いました。とても迫力のある語りで、引き込まれてしまいました。その後、石巻神社まで行き、お参りをして石巻山をあとにしました。

午後は西郷校区と牛川校区に行きました。最後の牛川校区では船で豊川を渡りました。渡船は初めて、という方も多く、とても喜んでいただけました。今は少なくなりましたが、昔はこのような渡しが二十数か所あったようです。



日吉神社にて



渡船場にて

- ・お話のあと見学できる時間があり、大変良かった。
 - ・生まれ育った豊橋の地ですが、初めて聞くお話も多く、大変興味深かったです。
 - ・自分の地元の民話を知りたい。
 - ・これからもこの様な講座に参加したいのでよろしくお願いします。
- など、「豊橋の民話に興味を持った」という意見を数多くいただきました。

今年度も講師、語り手を始め、多くの方々のご協力により、参加された皆さんにご満足いただけた1日となりました。また今秋にも、趣向を変えた文学めぐりを開催する予定です。ご期待下さい。

